

第4期中期計画・中期目標期間 以降に向けた本学の将来像

今後の本学の継続、持続的な
発展への基本的な考え方



伝統を継承し、未来へ紡ぐ

本学は、開学以来56年にわたり、一貫して重視してきた以下4つのキーワードに表される教育理念に基づき、教員養成の伝統と取組を継承しています。

単に一般論としての教員養成を行うということにとどまらず、ある独特の方向性を持った教員養成を志向していくことを意味しています。
この志向性は、これまで以下のような言葉で表現されてきました。

「教員の免許状を取得するための単位を提供するだけにとどまらず、真の教師としての資質の形成に寄与する」
「あるべき教員養成教育の姿を求めて、研究と実践を積み重ねてきた」
「教員養成の実質をつくりあげる努力」「教員養成教育の分野で真に価値ある大学を目指す」

教員養成に
責任を負う

単に学校現場における教育実践との結びつきに配慮するということや実践的な指導力を育成していくということにとどまらず、「教育における臨床の学」といった新しい学問を創り出していくという志向性をもって提起しました。

すなわち、「教育現場の課題を実践的に分析・検討し、その改善・解決するプロセスを通じ、理論の生成・検証を図る」取り組みであり、「『教育の実践』という仕事の学問の名にふさわしい内容を付与することをめざした」研究的な取り組みととらえることができます。

臨床の学

「理論」については、「教育学、行動・心理諸科学、教科教育学及び障害科学」といった教育関係諸科学に関する理論のみではなく、「各分野の深い学問的知識・能力(教科専門としての専門性)」に関する理論も含んでいるところに特色があります。

理論と実践
との往還
(融合)

また、「実践」については、学部段階での教員養成教育においては、教育実習の持つ意義に着目した上で、「教育実習を重視した教育課程の編成」について様々な試みを続けてきました。

生涯学び続け
深化する
教員の養成

「生涯にわたって自ら学び続け、その質的向上を目指す教員」のことを、略してこのように表現しています。学び続けること自体が目標ではなく、学び続けることを通じて、「質的向上を目指す教員」「深化する教員」をいかにして養成していくかという、システムの構築を試みることを目標としています。

「生涯学び続け深化する教員の養成」を実現していくために、本学では1965年の設立当初から、「教員養成教育と現職教育の連携を重視」することによって、教職生涯の全体を通じた教員の資質能力の向上を目指す取組を試み続けてきました。

これらの伝統的な教育理念を基に、国立大学としての基盤的な取組の成果に加え、今後の教職の各キャリアで求められる資質能力の確実な育成のため、「高度・先進的な教育の創造」「実践に基づく教育の質の向上」「学校の現代的な教育課題の解決と開発」といった教育研究の成果を飛躍的に挙げるとともに、それらの「見える化」を図り、これからも教員養成単科大学としての継続、持続的な発展を目指します。

選ばれ、 求められ、認められる大学へ

将来像 1

教職を目指す者、
教職としての力量向上を
目指す者から選ばれ、
優れた教員として
送り出す大学

「生涯学び続け深化する教員」を養成する大学として、学部での基礎的・基盤的な学びと大学院での主体的・発展的な学びとの連続性を図ることによる高度専門職業人としての教員養成を先導、主導し、各地域の教育の質を維持・向上させる役割を果たします。

それにより、特に東日本地域の高校生や教育関係者から「教員になるなら、教員として学び直すなら宮城教育大学」と連想される大学、また、卒業生・修了生等が「教員として力がついている」と評価される大学を実現します。

将来像 2

学校教育の創造、
問題解決のために知見を
求められる大学

教育委員会や学校、関係機関との連携を図りつつ、本学教員の取組の結集や新たな分野領域の教員の配置等によって独自の「教員養成学」を打ち立て、我が国の教育のイノベーションや高度化に寄与する教育研究を展開することにより、他の大学から教員養成の範、参考とされ、「宮城教育大学の知見や協力を得たい、連携・協働を図りたい」と評価される大学を実現します。

将来像 3

本学ならではの教員養成、特に
「特別支援教育に実践力がある」
「学校防災教育に秀でた力を持つ」
教員を育成すると
評価される大学

各学校種の教員として必要な全般的な資質能力を確実に図りつつ、特別支援教育、防災教育などの宮城教育大学ならではの強み・特色となる教育研究を進めます。その成果として、全学生が特別支援教育について一定の実践力又は教員免許を有している大学を実現します。また、東日本大震災の最大の被災地域に存する教員養成大学ならではの防災教育に係る知見を蓄積するとともに全国的な関係を構築し、本学学生をはじめとして全国的に提供できる大学を実現します。

目指す基本的な 「大学のかたち」

学術研究、文化、国際交流、経済等の機能が集積する仙台市を拠点に、一法人一大学による教員養成単科大学として、右に示す3つの取組を柱とし、「広く教職を目指す学生が集い、切磋琢磨し、高い意欲と優れた力を持つ教員を各地域に輩出する大学」を目指します。

1 教育学部での小学校教員養成を軸とした教員養成の実施

2 教育学部での中学校の10教科、5つの特別支援教育領域の教員養成体制の維持

3 教職大学院において高度専門職業人としての教員養成機能を発揮